

## 卓話

平成 18 年 1 月 17 日

### 「新入会員卓話」

溝口孝司会員

初めて皆様の前でお話させていただくこととなり、色々考えました。皆様にお披露目するようなことはありませんが、私が唯一続けてきたことを話させていただきます。

私、このような華奢な体つきをしておりますが、高校、大学と野球をやっておりました。高校は美濃加茂へ行きまして、その頃の高校は開校して間がなく、高校がとても荒れていた状態でした。野球部も当然、普通の状態ではなく、練習も大変でしたが、それ以上に寮生活が最悪でした。毎日、正座 2 時間は当たり前で、先輩の機嫌の悪い時には、どつかれました。私は、一番最初にわけも無くどつかれたわけですが、そのとき、運良く、鼻血が出たおかげで、先輩から、「もう、やめとけよ」と言われ、その場はしのげました。それから私は、そういう場面になると、自分でわざと、鼻血を出して、逃げていました。

肝心な野球の成績ですが、春と秋の大会では、岐阜県で優勝しましたが、夏の大会では皆様もご存知の県岐商に敗れ、甲子園の夢は閉ざされました。

そこで、大学の甲子園と言われる神宮大会を目指し、愛知工業大学へ進みました。そこでは、どつきはありませんでしたが、羽目を外すと、丸坊主にさせられ、私は今でも大学での丸坊主記録、2 年間で 8 回という記録をもっております。ということは、2 年間はずっと丸坊主でした。

野球の成績につきましては、3 年生の時には神宮大会の決勝戦で慶応大学に敗れ、準優勝でしたが、4 年の時には、駒澤大学との決勝戦で勝ち、優勝することができました。その試合の話ですが、駒澤大学は、バックネット裏からバックスクリーンまで応援する人が埋まっていました。一方、私の大学は、バスを 3 台チャーターし、満員で行きましたが、それだけの人数が神宮球場に入ったわけではなく、東京見物に利用されたわけで、帰りのバスもいっぱいでした。

今まで野球の話をしていただきましたが、私が一番、楽しみにしていることは、その野球の仲間たちと会って酒を飲んで、昔話に花を咲かせることです。

